

広田保育園 年間保育指導計画

平成21年度		たんぽぽ組（満3歳児）	年度当初の児童数	クラス計 18名（男子10名、女子8名）	本計画の作成責任者 計画作成のための会議	広田花子印	園長	主任	副主任	主 担	副 担						
クラス運営年間目標		・1人ひとりの育ちの違いを大切な個性として尊重し、家庭や地域と適切に連携・協働しながら、子どもが常に主役として輝く保育を提供する。 ・常に、笑顔いっぱい、元気いっぱい、愛情いっぱいの保育者集団であることを心掛け、子どもの育ちに望ましい人的環境を確立する。				①平成21年2月21日											
						②平成21年3月8日											
					③平成21年3月27日												
						年度末の省察・評価の視点			主な年間行事								
養護	・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。また、1人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 ・午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。また、楽しんで食事や間食をとることができるようにする。 ・食事・排泄・睡眠、衣服の着脱、清潔などの生活に必要な習慣が身につくようにする。			1) 家庭との連携を効果的に進め、1人ひとりの育ちの状況を十分に把握し、その違いを個性として尊重しながら、保育が実施できたか。 2) 1人ひとりの発達や発育の進度に応じて、基本的な生活習慣を定着させることができたか。 3) 戸外活動を積極的に行い、また小動物の飼育観察や植物の栽培などを通じ、それらの体験を室内での活動や生活の指導に応用して展開することができたか。 4) 自我的形成による1人ひとりの自主性や自発性を適切に受け止め、必要以上に規制のない生活を過ごせることができたか。 5) 発達段階の特長を考慮し、クラス全体としてまとまりある表現や活動ができたか。				4, 1 5, 2 5, 20 5, 21 5, 25 6, 10 6, 20 7, 5	入園を祝う会 花と野菜の植付 内科診断① 歯科診断① 保育参観① 運動会 特別園外保育① 七夕まつり	7, 7 8, 11 9, 10 9, 19 9, 25 10, 11 10, 15 10, 24	七夕集会 スイカ割り会 敬老交流会 クリスマス会 栗拾い 音体東北大会 特別園外保育② 七夕まつり	10, 25 11, 12 12, 6 12, 22 1, 5 2, 3 3, 3 3, 25	歯科健診② 七五三参詣 お遊戯会 新年を祝う会 節分豆まき ひなまつり 卒園を祝う会				
教育	・戸外遊びを十分にするなど、遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。 ・身近な人と関わり、友だちと遊ぶことを楽しむ。 ・身近な動植物や自然事象に親しんで遊んだり、社会事象や環境に興味を持って模倣遊びに取り入れたり自ら関わりながら生活を広げていく。 ・生活に必要な言葉がある程度分かり、自分の欲求を言葉で表現する。また、絵本や童話などを見聞きして、その内容や面白さを楽しむ。 ・様々なものを見たり触れたりして美しさや面白さを楽しみ、感じたことや思ったことを描いたり歌ったり、体を使ったりして自由に表現しようとする。																
期	I期（4月・5月・6月）			II期（7月・8月・9月）			III期（10月・11月・12月）			IV期（1月・2月・3月）							
養護	生命の保持			・1人ひとりの平常の健康状態や発育・発達状態について正確に把握する。 ・健康観察を行いつつ異常な状態を示した場合は速やかに適切に対応する。 ・施設内の環境衛生に十分に留意し、快適に生活できるようにする。			・進級時や入園時に把握した1人ひとりの健康・発達・発育の状態や、生理的欲求のリズムの変化に留意しながら、夏特有的感染症の予防に努める。 ・健常観察を行いつつ異常な状態を示した場合は速やかに適切に対応する。			・健康や発育の様子を把握し異常な際は速やかに適切に対処し、環境を清潔に保ち、夏の疲れを癒す。 ・身体機能の高まりにつれ運動や遊びが活発になるため、園内外の安全に保つ。 ・基本的生活習慣の確立にあたっては「自分でしたい」意欲を認めながら、「できる喜び」味わうよう支援する。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。 ・換気や温湿度の管理など園内外の環境衛生対策を強め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
ねらい	情緒の安定			・1人ひとりの生理的欲求を適切に満たし、快適に生活をおくらせる。			・進級や入園から生じる不安や動搖、疲れを温かく受け止め、軽減・解消する。 ・子どもの気持ちを温かく受け止め、保育者との信頼関係を構築する。			・1人ひとりの子どもが自信と意欲を持って保育生活を過ごせるよう支援する。 ・運動的な夏から静かな秋の生活に移るにつれ、心情穩やかな生活を提供する。 ・自己肯定感を尊重し、よりはっきりとした自我の形成を支えていく。			・室内遊びが中心となるのでストレスを和らげるよう適切に配慮すると共に、戸外遊びの機会を有効に取り入れ季節分転換を図る。				
教育	健康			・1人ひとりの子どもの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。 ・1人ひとりの基本的生活習慣の確立の様子を把握し、無理なく援助する。			・戸外遊びや水遊びを通じて夏ならではの健康的な遊びを体験させる。 ・食事や排泄など基本的生活習慣は、保育者の常時の援助がなくとも、ある程度できるようになり、保健衛生の意味や必要を徐々に理解するようになる。			・健康や発育の様子を把握し異常な際は速やかに適切に対処し、環境を清潔に保ち、夏の疲れを癒す。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。				
言葉	人間関係			・新しい友だち関係にまだ十分には慣れていない子どもには優しく仲立ちする。 ・遊びや活動の広がりによって生じる1人ひとりの喧嘩や葛藤を受け止めつつ、社会性や集団性を育む。			・お手伝いやお当番活動から人のために早くす喜びや意味を感じさせる。			・友だちと楽しく遊ぶことが喜びとなるよう、適切に仲立ちをする。			・風邪をはじめとする感染症予防に向けてうがいや手洗いなどを励行する。				
表現	環境			・身近な動植物や自然事象に気づかせ、親しみを持たせる。			・新しい友だち関係にまだ十分には慣れていない子どもには優しく仲立ちする。			・身近な友だちと遊ぶことを楽しむようになる。			・園内外の運動遊びを多用し、冬の寒さに負けない丈夫な体づくりを支援する。				
養護	言葉			・身近な物の色、数、量、形への違いに気付き、興味を持つようになる。			・野菜の栽培・収穫などにも参加し、それらを使った楽しい給食を提供する。			・1人ひとりの基本的生活習慣の定着の素振りを喜ぶ。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
教育	表現			・身近な動植物や自然事象に気づかせ、親しみを持たせる。			・新しい友だち関係にまだ十分には慣れていない子どもには優しく仲立ちする。			・遊びや活動の広がりによって生じる1人ひとりの喧嘩や葛藤を受け止めつつ、社会性や集団性を育む。			・風邪をはじめとする感染症予防に向けてうがいや手洗いなどを励行する。				
保育の内容	生命の保持			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの子どもの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。			・換気や温湿度の管理など園内外の環境衛生対策を強め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
教育	情緒の安定			・1人ひとりの生理的欲求を適切に満たし、快適に生活をおくらせる。			・1人ひとりの生理的欲求を適切に満たし、快適に生活をおくらせる。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。			・換気や温湿度の管理など園内外の環境衛生対策を強め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
保育実施上の重点的な配慮事項	健康			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。			・換気や温湿度の管理など園内外の環境衛生対策を強め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
保育実施上の重点的な配慮事項	人間関係			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。			・換気や温湿度の管理など園内外の環境衛生対策を強め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
保育実施上の重点的な配慮事項	環境			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。			・換気や温湿度の管理など園内外の環境衛生対策を強め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
保育実施上の重点的な配慮事項	言葉			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。			・換気や温湿度の管理など園内外の環境衛生対策を強め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
保育実施上の重点的な配慮事項	表現			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、生命と健康を維持する。			・1人ひとりの健康や発育などの把握に努め、冬の健康管理を徹底する。			・換気や温湿度の管理など園内外の環境衛生対策を強め、インフルエンザや風邪など冬に多発する感染症を予防する。				
各期における省察・評価	環境構成			・児童の発達や、季節や天候による環境の変化に適応する。			・完全ではないが、危険を認識しつつ戸外での活動を意欲的・自発的に行なう。			・健常維持のため自分がから進んである程度はうがいや手洗いをするようになる。			・健康維持のため自分がから進んである程度はうがいや手洗いをするようになる。			</td	